

2014年4月1日

愛知製鋼株式会社

2014年度入社式の実施について

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、4月1日（火）、当社体育館（愛知製鋼企業年金基金体育館「アスカム」）において「2014年度入社式」を行った。

本年度入社の新入社員は74名である。なお、藤岡社長から新入社員への挨拶要旨は、以下のとおり。

<藤岡社長挨拶要旨>

社会人としての第一歩を踏み出す皆さんの新しい門出を心からお祝い申し上げます。

当社は、1940年3月8日に豊田喜一郎氏が、資源のない我が国が欧米と対等に戦っていくために、「**よきクルマはよきハガネから**」という高い志を掲げ、創立された会社です。以来、トヨタグループの一員として、諸先輩方が創立の精神を忘れることなく、様々な努力を積み重ね、現在の「**世界に冠たる自動車用特殊鋼・鍛造の一貫製造メーカー**」という評価を築き上げてきました。皆さんにも、この伝統ある愛知製鋼で働けるという誇りを持ち、若々しく活躍していただくことを期待したいと思います。

私たちは「**よきクルマはよきハガネから**」という創業精神に立ち返る「**原点回帰**」により、自分の立ち位置、身の丈をじっくり見つけ直し、「**らしさ**」の追求をすべきだと考えます。「**原点回帰**」といっても、ただ単純にもとの状態に戻るリセットではいけません。「**Return to the basic with innovative manner**」、つまり、**創意工夫と革新的なアイデア**をもって「**そのものが飾らずして備えている独自性**」である「**らしさ**」を追及していかなければならないと考えています。今年は当社の創業者である豊田喜一郎氏の生誕120周年の年にあたります。この節目の年に、改めて原点に立ち返り、我々の**DNA**を見つめ直したいと思います。ぜひ、皆さんには、一つひとつの仕事やその過程に対して、フレッシュな目線で、常に「なぜだろう」という気持ちで向き合い、仕事の本質＝**原点**を探ってほしいと思います。

皆さんには、愛知製鋼の一員となるにあたり、常に意識してほしいことが3点あります。

まず1点目は、当社の企業文化である「**1S文化**」の心を学び、それに基づいて仕事に取り組んでいただくことです。1Sの“S”は、「正直」、「安全(Safety)」、「清掃」の3つの頭文字を指し、「この3つを第一に」という思いが込められています。

2つ目は、「**I will～自変元正～**」の精神です。「**I will～自変元正～**」とは、「私がやってやるんだ」、「私が会社を変えていくんだ」という**強い当事者意識**の表現です。「We will」ではなく、「**I will**」。「私が」という一人称であるところが大切なのです。

3つ目は、**自分の殻から一步、踏み出す勇気を持った人**になっていただくことです。会社生活の中で直面する様々な困難を乗り越える原動力は、これまでの考え方や姿勢から脱却し、新たな自分に挑む勇気だと思います。グローバル化の加速するこの時代に、皆さんには国内外問わず活躍していただくことを期待しています。

最後に、本日から皆さんは、社会人として、そして愛知製鋼の社員として、新たな一步を踏み出しました。トヨタグループで3番目に創業した老舗企業である当社で一員として働けるんだという誇りとその名にふさわしい実力をもった会社にしていくんだという強い意志をもって仕事をしていくことで、地域の皆様からも「**いつまでもこの地にあり続けてほしい**」と思ってもらえる会社にしていくください。そして、地域からもお客様からも信頼される「**Company of choice Globally～世界中で選ばれる会社**」となるために、本日からその責任と自覚を胸に、社会人として新たなスタートを切ってほしいと思います。

以上